

## 「ツール・ド・東北2014」いよいよ開催!

昨年の2倍となる3,000名のライダーたちが、石巻から女川、南三陸、気仙沼の三陸沿岸を爽やかに駆け巡ります。最長220キロメートルのコースも新設され、笑顔と勇気を振りまきながらコースを走行しますので、町民皆様の温かいご声援をよろしくお願いいたします。

◇開催日 9月14日(日)

◇町内の走行予想時間 午前8時から午後3時までの間(折り返しを含む。)

◇走行場所 神割崎から伊里前福幸商店街、気仙沼方面の国道45号線および398号線

※大会運営にかかる通行止めなどの交通規制は行われませんが、安全走行でのご協力をお願いします。

◇エイドステーション通過予想時間

・神割崎 午前8時から午後1時頃

・伊里前福幸商店街 午前9時から正午頃

・南三陸ホテル観洋 午前10時から午後3時頃

※エイドステーションとは、参加者の休憩所として提供するエリアです。

※エイドステーションにて、大会ロゴ入りの応援旗を配布します(数量限定)。

◇主催:株式会社河北新報社、ヤフー株式会社

◇主管:ツール・ド東北2014実行委員会

◇共催:宮城県、宮城県教育委員会、石巻市、気仙沼市、女川町、南三陸町、東北地域づくり協会、三陸河北新報社、A.C.Oinc

◇運営協力:日本自転車競技連盟、日本サイクリング協会、宮城県自転車競技連盟、宮城県サイクリング協会

◇特別協力:TBSテレビ、石巻専修大学

◇協力:宮城県二輪車安全普及協会、石巻赤十字病院

◇問い合わせ 「ツール・ド東北2014」大会運営事務局 ☎0570-099-820 (受付時間:平日午前10時から午後6時)

## 庄内の風<sup>91</sup>

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

### めずらしい! 日本酒立ち飲みバーがオープン

JR余目駅前に今年5月完成した新産業創造館内に日本酒立ち飲みバー「Bar Kameji」(バー亀治)が、8月1日にオープンしました。

このバーは、庄内町小出新田集落出身の篤農家・阿部亀治翁がこの世に送り出した「亀ノ尾」という品種の米を使った日本酒を中心に県内各地の銘酒を味わえるのが売り。おつまみは、隣接のレストラン「やくけっチャーの」よりカレーやピザなどがいただけます。

9月5日には毎年、阿部亀治翁の顕彰祭を行っています。苦労を重ねて稲作に望んだ先人たちの思いを感じながら秋の夜長を楽しむのも一興かと思えます。みなさん、庄内町にいらっしゃった際にはぜひお立ち寄りください。

■問い合わせ 商工観光課新産業創造係 ☎0234-42-2909



## bjリーグ 2014-2015シーズン公式戦 in 南三陸町

### 仙台89ERS VS 新潟アルビレックスBB

プロバスケットボールチーム「仙台89ERS(エイティナイナーズ)」のホームゲームが今年も南三陸町にやってきます。当日は、南三陸町民のみならず、近隣の方を無料で招待。ご来場の上、迫力満点のカッコいいプロのプレーをぜひご覧ください。

◇日時 10月18日(土) 午後1時30分試合開始

10月19日(日) 午後1時30分試合開始

◇場所 南三陸町総合体育館(ベイサイドアリーナ)

(招待チケット配布方法)

9月9日(火)より下記の場所にて配布します。

【配布場所】ベイサイドアリーナ/宮城県志津川自然の家/入谷公民館/平成の森/登米市登米総合体育館

【注意事項】チケットがなくなり次第、配布終了となります。無料招待チケットは2階自由席のご招待となります。(1階観客席は有料です。)

◇問い合わせ 教育委員会生涯学習課 ☎46-2639

## 波伝谷に生きる人びと-第1部- 無料上映会開催

今年1月にポータルセンターで上映した『波伝谷に生きる人びと』ですが、この夏、宮城県沿岸部での縦断上映会を展開しています。また見たい!!前回見逃した!!という方、ぜひこの機会に足をお運びください。



◇日時 9月5日(金)

開場:午後5時30分

開演:午後6時

◇場所 ポータルセンター

◇定員 80名

◇入場無料 当日参加可(先着順に整理券を配布します。)

◇事前予約・問い合わせ

『波伝谷に生きる人びと』上映実行委員会

☎080-9010-8326

E-mail hadenyani\_ikiru@yahoo.co.jp

作品紹介 南三陸の海沿いに位置する波伝谷部落。東日本大震災による津波で壊滅したこの漁村に生きる人びとの震災前の日常を描いたドキュメンタリー映画。(2013年/136分)

## 入居者の声

入谷・名足復興住宅が完成し、8月1日(金)から随時鍵の引き渡しが行われ、入居が始まっています。実際に入居された方々からお話を伺ってきました。



入谷復興住宅に入居された  
佐々木 徳<sup>としのり</sup>さん  
(前 天王山)

復興住宅にはいつ入居されましたか。ご家族は何人ですか。

8月2日(土)に入居しました。家族4人で暮らしています。

3年経って入居されてどんなことを感じましたか。

私たちがいた仮設はみんな仲良く和気あいあいとできた仮設なんですけど、それとは別に気を遣わなくていいというのには本当にありがたいです。2歳の孫がいるので隣近所の迷惑を考えるとよかったなと思います。なにより、孫が喜んでます。

これからどんな町になってほしいですか。

若い人たちに残ってもらえるような町にしてみたいと過疎化してしまうんじゃないかと思っています。うちでは、娘たちも残っていますが、そういう若い人が住みやすい町にしていってほしいですね。



入谷公営住宅に入居された  
熊谷 亜矢<sup>あや</sup>さん  
(前 御前下)

入谷復興住宅にはいつ入居されましたか。

8月6日(水)に入居しました。

新しい生活はどうですか。

広がったことで物が少なくなったようなさびしい気持ちと、歩かなくても届いていたものが、歩かなくちゃいけなくなったといううれしい悩みができて、子どもにとってもよかったです。

以前はボールプールが広げられなかったのが、ボールプールも広げられて子どもも喜んでます。家中を走り回っています。

気持ちの面で変わったことはありますか。

今までは隣と壁一枚だったので、娘が泣くと外につれていって、聞こえないところであやしていました。そういった面でも気が楽になりました。

これからどんな町になってほしいですか。

子どもにやさしい環境にしてほしいです。今は、医療機関だったり、子どもが遊べる場所がほしいですね。復興していくには仕方ないことですが、環境面も徐々に改善していってほしいです。